



文部科学省 大学教育・学生支援推進事業【テーマ B】 学生支援推進プログラム採択事業
【平成 21(2009)年度～平成 23(2011)年度】

モノから社会を学ぶ

—卒業生が制作した製品を通じた就職支援—



東京造形大学
Tokyo Zokei University

◆本学の取組の概要◆

「造形の思想とその実践」が建学の理念である本学にとって、卒業生の社会（企業）での実績は、「大学の財産」です。本取組は卒業生が社会で携わった作品（モノ）を通じて就職志望学生に社会を学ばせるものです。学生は身近な存在である卒業生の製品を目にすることで、本学の基本理念である「造形」について再認識しながら、それらを発展させる方向で就職について考えることができます。

■事業内容■

1. 卒業生が開発に携わった製品（商品・作品）を企業と借受交渉し、本学美術館に展示します。また、案内状の企業・卒業生への発送及びポスター掲出により、大学情報の提供を行います。
2. 開発に携わった卒業生を招聘し、開発時の仕組み、苦労などに関する講演や討論会を開催します。また、在学生のイメージ形成のフィードバックのためにアンケート調査を行います。
3. 就職情報データベースシステムに蓄積する展示製品と企業及び卒業生の製品や作品、その企業や求人情報についての調査を行い、有効な情報の選別を行います。その情報を基に、機器の導入を行い、情報の格納や検索、結果表示方法の設計、開発を行います。
4. 卒業生の製品や作品について、撮影、編集を行い、関連する卒業生情報や企業情報及び求人情報と共にデータ化し、就職情報データベースシステムに格納します。また、それらをリンクさせ、学内ネットを通じ学生が検索できるようにします。
5. これらの取組を通じて、学生に対して企業において企業内での製品開発過程や求められる製品開発についての具体的なイメージを形成する機会を提供するとともに、本学の卒業生として実社会にて創造活動を行うための学士力を育成します。

◆この取組の背景◆

本学学生の多くは、卒業後の進路として「企業への就職」を選択します。しかしながら、日常生活において、卒業生の企業での活躍を知る機会はありません。

進路選択時の情報が不足すると、「会社で働く」ということについて具体的なイメージが持てないまま視野の狭い就職活動することとなってしまう、「ミスマッチ就職」「離職率の増加」「ニート・フリーター化」などといった問題も発生してきてしまいます。

本学では、そのような問題意識をふまえつつ、本事業によって次のような目標を設定しています。

1. 「ミスマッチ就職」「離職率の増加」「ニート・フリーター化」などの問題を真摯に受け止め、早期離職を防止する。
2. 卒業後の進路に対する意識を早期に確立し、学生の在学中のモチベーションを向上させる。
3. 卒業生の社会での活躍を身近に感じる場（作品展示・パネルディスカッション・ギャラリートークなど）を提供し、実際に卒業生とコミュニケーションをとることによって「就職観」「職業観」を育成する。

学生支援推進プログラムとは

～独立行政法人日本学生支援機構ホームページより～

【背景】

我が国の大学教育においては、知識基盤社会を担う優れた人材を育成することが求められている一方、「大学全入」時代を迎え、学生の知識・学習習慣・学習意欲の多様化に対応していく必要があります。

中央教育審議会答申「学士課程教育の構築に向けて」（平成20年12月24日）においては、各大学が、教学経営における「三つの方針」の明確化等を進める必要があり、この中で特に「学位授与の方針」については、学習成果ということを重視する観点から、各大学において、学位授与の方針や教育研究上の目的を明確化し、その実行と達成に向けて教育活動を展開していくことが必要とされています。その上で、我が国の学士課程教育が分野横断的に共通して目指す学習効果に関する参考指針として「学士力」が示されており、国として各大学における学位授与の方針等の策定等を促進・支援することとされています。

【目的】

大学教育・学生支援推進事業は、各大学・短期大学・高等専門学校から申請された、各大学等における学士力の確保や教育力向上のための取組の中から、達成目標を明確にした効果が見込まれる取組を選定し、広く社会に情報提供するとともに、重点的な財政支援を行うことにより、我が国の高等教育の質保証の強化に資することを目的としています。

◆造形のデザイン展◆

創立から 40 年以上の時を経て、東京造形大学は数多の優秀な人材を社会に輩出して参りました。その間、卒業生たちは様々な分野で多大な貢献をし、また企業の中核においてデザイナーとしての重要な業務を担っているケースも目立っています。

本学では、そのような企業の第一線で活躍する卒業生の中から主にインハウスデザイナーの多岐にわたる業績を紹介することを目的として、各企業の協力のもと、プロダクトデザイン、グラフィックデザイン、パッケージデザインなどデザインの諸分野の作品を展示公開する企画展「造形のデザイン展」を、毎年秋に開催しています。

本学学生の先輩であるデザイナーの方が製品に込めたメッセージを在学生在が感じ取ることによって、それを自らのキャリア形成に役立てることを期待し、また、同時に、「商品」という名の作品を媒介とした卒業生と在学生の格好のコミュニケーションの場としても、役立てております。

また、会期中には、展覧会出品者である卒業生によるパネルディスカッションおよびギャラリートークを実施し、卒業生の社会での活躍や在学中に身に付けたことの活かし方などの話を聴く機会を設けています。

■第 1 回 造形のデザイン展■

会期：平成 20(2008)年 11 月 10 日(月)～11 月 29 日(土) 休館日：日曜・祝日

開館時間：10:00～16:30(入館は 16:00 まで)

会場：東京造形大学附属横山記念マンズー美術館

主催：学校法人桑沢学園 東京造形大学

出品企業：花王株式会社／株式会社サンリオ／セイコーエプソン株式会社／
株式会社デザインフィル／株式会社東芝／日産自動車株式会社／株式会社良品計画／
レンゴー株式会社

特別協力：LLP サステナブルプロジェクト／SOUVENIR DESIGN

■第 2 回 造形のデザイン展■

会期：平成 21(2009)年 11 月 9 日(月)～11 月 28 日(土) 休館日：日曜・祝日

開館時間：10:00～16:30(入館は 16:00 まで)

会場：東京造形大学附属横山記念マンズー美術館

主催：学校法人桑沢学園 東京造形大学

出品企業：株式会社オリバー／オリンパスイメージング株式会社／kata kata／
サンエックス株式会社／シャープ株式会社／セイコーウオッチ株式会社／
トヨタ自動車株式会社／株式会社博報堂アーキテクト／
株式会社バンダイナムコゲームス／ペガサスキャンドル株式会社

特別協力：グラフィックデザイン：武田厚志(SOUVENIR DESIGN)

ディスプレイ デザイン：梅原高秋

■第 3 回 造形のデザイン展■

会期：平成 22(2010)年 11 月 8 日(月)～11 月 27 日(土) 休館日：日曜・祝日

開館時間：10:00～16:30(入館は 16:00 まで)

会場：東京造形大学附属横山記念マンズー美術館

主催：学校法人桑沢学園 東京造形大学

出品企業：いすゞ自動車株式会社／コトブキシーティング株式会社／株式会社サン宝石／
株式会社シャンソン化粧品／株式会社電通／東京ファッションプランニング株式会社／
TOTO 株式会社／株式会社ニコン／富士通デザイン株式会社／郵便事業株式会社

特別協力：グラフィックデザイン：武田厚志(SOUVENIR DESIGN)

ディスプレイデザイン：神原秀夫(BARAKAN DESIGN)／鈴木竜(59Design)

※ 出品企業名に下線付 = パネルディスカッション・ギャラリートーク協力者在籍企業

◆卒業生の実績のデータベース化◆

卒業生が企業で手掛けた商品（製品）をデータベース化し、その企業の求人情報とリンクさせ、さらには企業情報や業界構造なども連携させるシステムを構築中です。

学内ネットを通じて在学生在が検索し、製品開発過程や製品開発についての具体的なイメージを形成することによって、各自のキャリア形成の一助とすることを目的としています。



◆今までの展示風景・リーフレット◆

第1回 平成20(2008)年

造形のデザイン展

モノから社会を学ぶ

2008.11.9(月)~11.28(土) 10時00分~16時30分

会場: 東京造形大学附属横浜記念マゼンヌ美術館

第2回 平成21(2009)年

造形のデザイン展

モノから社会を学ぶ

2009.11.9(月)~28(土) 10:00-16:30

会場: 東京造形大学附属横浜記念マゼンヌ美術館

第3回 平成22(2010)年

造形のデザイン展

モノから社会を学ぶ

2010.11.9(月)~27(土) 10:00-16:30

会場: 東京造形大学附属横浜記念マゼンヌ美術館